

研究推進だより

ふるさと



《研究主題》

ふるさとについて語り合い、
未来に向かって主体的に行動できる児童の育成

令和5年3月22日 No, 4
南丹市立胡麻郷小学校

地域の方へ感謝を届けよう!

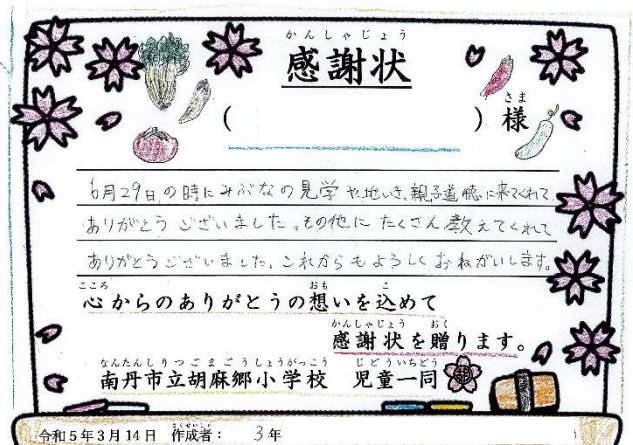
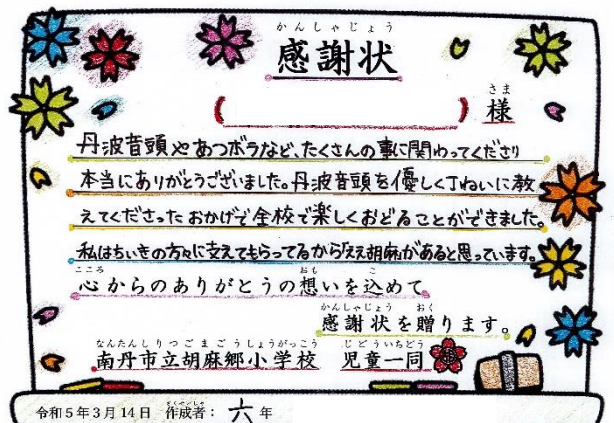
～あいがとうの会～



本校では3月14日(火)に、今年度お世話になった地域の方々をお招きしてあいがとうの会を実施しました。あいがとうの会に向けて、日頃から登下校の見守りをしてくださった方や、本校読み聞かせボランティア「ぽっぷこ〜ん」の方、地域道徳で各学年の講師をしてくださった方など、総勢65名の方々に1～6年生の子どもたちが感謝状を作成しました。

当日のあいがとうの会には、9名の方たちに出席していただきました。各学年の児童代表から今年度のお礼や学習の振り返りを伝えて感謝状を渡したり、校歌や唱歌「ふるさと」を一緒に歌ったりして1年間お世話になった感謝の気持ちを届けました。また地域の方一人一人からは、子どもたちへこれからは勉強や運動など様々な事に挑戦し頑張ってもらいたいという願いのこもったメッセージをいただきました。

この1年間の地域の方とのふれあいを通して、子どもたちは家庭や学校からだけでなく、地域からも愛され助けられているという「包み込まれているような感覚」を肌で感じてきたことと思います。これからも学校と地域と家庭で協力をして、子どもたち1人1人がふるさと胡麻を愛し、のびのびと成長していけますよう、ご協力・ご支援をよろしくお願いします。



市長と語ろう



～南丹市の魅力・自慢について～

12月23日（金）、南丹市議会議場で「市長と語ろう、私たちのまちづくり」が開催されました。小学生は「南丹市の魅力・自慢について」、中学生は「移住したくなる魅力ある南丹市にするために」をテーマに、南丹市内の小中学校11校の代表児童、生徒が参加しました。本校からは6年生の伊藤翼君が代表として参加しました。これまで地域へ出かけて学んだことや体験させていただいてきたことをもとに、6年生みんなで知恵を出し合いながら発表内容を考えました。更により発表内容が伝わるようにと、タブレットを使ってスライドショーも作成し、発表に臨みました。当日には、南丹市の良さや胡麻地域の魅力を発信し、みんなが笑顔でこれから先も住んでいける、「もっともっとええ南丹市」を作っていきたいと市長へ伝えました。

学校では、草木染めやしめ縄作り、田植え稲刈り体験、地域の祭りなどを通じて地域の方と交流している。自然豊かで地域のつながりが深く、多くの伝統行事が受け継がれていることが南丹市の魅力。移住者を増やすために、豊かな自然環境や市内の人気の観光スポットを活用し、農業体験により人と自然に触れてもらってはどうか。地域の魅力を学び、発信していきたい。



胡麻郷小学校
伊藤翼 6年



研究主任より

先日のありがとうの会で全校児童が歌った唱歌『ふるさと』には「忘れがたき」「思いいずる」「いつの日にか帰らん」という一節があります。胡麻郷小学校の子どもたちにとってこの胡麻の郷(さと)がそのように「心の支え」になったり「いつか帰ってきて役に立ちたい」と思ったりできる『ふるさと』になってきているのかな。なつてほしいな。と常々考えています。

本校が進めている特別の教科 道徳の研究において、本年度も With コロナを意識しながら地域(家族)と地域(家族)で地域(家族)から学ぶこと、またそのことで子どもだけでなく、地域や家庭の道徳性も高めていくことを目指して地域道徳や親子道徳の取組を進めてきました。そんな中、親子道徳に参加していただいた保護者には「子どもと同じ目線で道徳を学べたのは良かったです。」「子どもの心の成長を感じました。」「この胡麻の地で子育てできていることを幸せに思います。」と嬉しい感想を残してくださった方もありました。また、ありがとうの会に参加してくださった地域の方々からも「子どもたちのありがとうの気持ちが伝わって、とても温かい気持ちになりました。」「来年も胡麻の子どもたちのために頑張ります。」というありがたいお言葉をいただきました。ご理解ご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

今後も本校の地域道徳・親子道徳の取組を通して学校、家庭及び地域をさらにつなげ、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う胡麻」を構築していきたいと思ひます。